

【測定対象】 市販流通品の土（園芸土、造園土など）

【検出限界】 50 Bq/kg 程度

※ 土壌には、食品に比べて非常に多くの天然核種が存在します。弊所で使用している測定器は、検出器の性能からこれら天然核種と、I-131やCs-137、Cs-134の分離が困難な場合が多々あります。また、土壌に含まれる水分により、測定値は実際の値より低く出る傾向があります。よって、測定された値は、あくまでも目安とお考えください。

測定の流れ 予約後、宅配便などで土サンプルを送付(または持ち込み)いただきます。
測定終了後、郵送にて結果をお知らせします(要 82 円切手)。

➤ 申込フォームはこちら http://www.ycrms.net/dojou_booking

土サンプルの作り方／送り方 500ml 分の土サンプルをビニールに詰めて送ります。

作業の前に 線量計をお持ちの方は、市販の袋入りの状態で直置きしたときの線量を測り、機種名とともに検体メモにご記入下さい(線量計は汚染防止のためビニールで包み、10分くらい測定した平均値をお取り下さい)。

用意するもの

- ・測定する土
- ・厚手のビニール袋 … 2枚
- ・500mlを計量できる容器（ヨーグルトのカップ、タッパなど） … 1個
- ・輪ゴム … 1つ
- ・油性マジック
- ・送付用の梱包材



① 500ml を計量できる容器に、ビニールをかぶせる。



目盛りを確認!

※ 容器に目盛りがない場合は、あらかじめ500mlの水を入れるなどして位置を確認し、目印を付けておく。

② 土をギュューギュュー押しながら500mlのラインまで詰め、しっかりと空気を抜いて輪ゴムで閉じる。

※ サンプルの密度が薄くなると測定の精度が低くなります。押し込みながらしっかりと詰め込むこと。



500mlを
超えないように

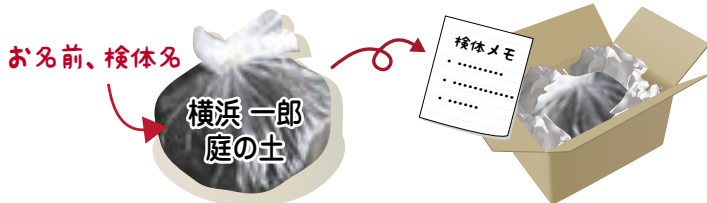


空気をしっかり抜くこと!

空気が入っていると、測定器のフタが閉まらず、測定できない場合があります

袋の外側や入り口に、土がつかないように注意!

③ 袋に油性マジックで予約番号を書く。ビニール袋を2重にして梱包し、宅急便などで測定所に送付する。



線量計をお持ちの方は、500ml 詰めた袋にあてたときの反応も検体メモにご記入ください(“変化なし”, “0.02 μsv/h 上昇”など)

ご注意

ビニール袋が破損している、容量を超えているなど、そのまま測定ができない場合は、飛散・汚染防止のため返却する場合があります。

- ・ 腐葉土に小枝などが入っている場合は、細かくする(または取り除く)などビニールに穴が開かないように注意してください。
- ・ サンプルは500mlを超えないように注意してください。
- ・ 空気をしっかりと抜いてください。